3ページまでは論文執筆のためのフォーマットです。赤字サンプルが書き込む箇所です。「JRCA執筆要領」はp. 4 以後に記載されています。原稿の執筆が終わりましたら、「JRCA執筆要領」のページを消してください。

# Title of the article:

# Cultural Anthropology in Japan

Sub-Title:

**The Development of Anthropology in Japan**

Short running title:

Anthropology in Japan

## Name(s) of the Author(s):

## Hanako Jinrui

Affiliation(s) of the Author(s):

Graduate School of Anthropology, Nihon Jinrui University

The complete address of the person to whom the proofs are to be sent:

Name: 人類はなこ

Address: 150-0000 保谷市, 民族町 1-2-3

Telephone: 000-000-0000

E-mail: jinruigaku[at]hoya.warmmail.com

**Abstract:**

The format of the paper should follow this sample. The abstract should not exceed 150 words. In this paper, I focus on the development of anthropology in Japan.

Key words: Anthropology, Japan, Jinruigaku, Culture

Acknowledgements (if necessary):

This paper is the outcome of a joint project with Bunka Jinruigakkai.

 The main text should follow this style. This is the style for the main text. The font and spacing should be the same as this sample text.

For details of the style, please follow the instructions below.

REFERENCES

(詳細は、下記執筆要領をよく確認のこと)

Abcdef, Ghijk M.

2016 Introduction: Anthropology into the 21st Century. In G. Abcdef, ed., *Anthropology into the 21sCentury*, pp.1-10. Tokyo: Shuppansha.

Bcdefg, Hijkl

 2015 Japanese Anthropologists in Japan. *Japanese Ethnologist* 4(1), 123–45.

*JRCA*執筆要領

●入力のためのワード（Ms Word、各ヴァージョン）の設定。

「ツール」🡺「オプション」🡺「表示」🡺「編集記号の表示」🡺「すべて」をチェックして「OK」。画面にスペースがタブ、改行とともに、記号で表示される。

「ツール」🡺「オートコレクト」🡺「入力フォーマット」🡺「入力中に自動で書式設定する項目」→全項目のチェックを外して「OK」。パラグラフの始まりは、ワードの自動字下げを使わず、タブを入力して表示する。

●英語部分は、IMEなどの日本語変換ソフトをオフにして、全ての文字と記号を半角で入力する。全角を混在させない。とりわけ、スペース、句読点（“ ” : ;など）に半角と全角の混在がないよう注意。

●原稿の執筆に当たっては、以下のStyle Guideで指定されている項目を除いて、フォント（活字の種類）、ポイント（活字の大きさ）、文字間隔、行間など、書式の変更は一切行わないでください。

●英語の綴りはアメリカ英語とする。

●論文タイトル――論文タイトルのみ。あるいは論文タイトルとサブタイトルを組み合わせ、コロンで繋ぐ。

●見出し――本文の見出しとして、「大見出し」、「中見出し」、「小見出し」の3段階が可能。

「大見出し」のみで論文を構成することが望ましい。大見出しとしてのIntroductionは設けない。

見出しには番号を付けない。

見出しの上下に空白行を置く。見出しの文字列に続けて、赤字の日本語で見出しの種類（大中小）を注記する。

大、中、小見出しは全て、論文タイトルと同じく、冠詞、接続詞、前置詞を除いて、全ての単語を大文字で始める。サブタイトルは常に大文字で始める。

●見出し後の先頭行からタブにより字下げ。以下、パラグラフの先頭の字下げはタブによる。

●句読点、punctuation――おおむねアメリカ英語のスタイルによる。

 引用符は “abc” “abc,” “abc.”

 単語の並列でのコンマは、aaa, bbb, and ccc

ただし、ダッシュのみイギリス英語スタイルで、「半角スペース」＋「半角ダッシュ」＋「半角スペース」。

 aaaaa – bbb ccc ddd – eeeee

「半角ダッシュ」の入力――（日本語IMEがオフの状態で）Cntl+（数字テンキーの）-（ハイフン）。

●人名――姓は最初の文字だけ大文字（upper case）にしてください（例：Yamamoto）。姓と名の順序は日本人か否かを問わず、すべて名を先にしてください（例：Junko Yamamoto）。

ただし、論文タイトル、書名、および直接の引用文は全体が固有名詞と見なすべきものであり、そこに含まれる人名は、オリジナルどおりの表記とする。

●イタリック――イタリックとする単語類は、イタリックにし、かつ赤字にする。

考察対象社会の言語（現地語）の単語類は、固有名詞を除いて、イタリック。

特別の意味を込めて強調する用語（概念、キーワード）もイタリックとする。強調の印として下線は用いない。

英語として定着しているラテン語（その他）由来の単語、略号は、イタリックとしない。

 etc. vs. vis-à-vis 参照文献での et al. passim 略号の cf. e.g., i.e.,

●文章の引用――文献の文章を文中で短く引用する場合は、引用符（“ ”）で括り、出典を並記する

 Abc writes, “def ..... ghi” (Abc 2001: 345).

引用文が3行以上に及ぶ場合は、前後に空白行を各1行加え、数文字分インデントにする。引用文を引用府でくくらない。引用文の末尾はピリオド（ないし疑問符？など）で終え、半角スペースを置いて、出典を丸括弧内に記す。（出典の閉じ括弧の後にピリオドを付けない）。出典に続けて、赤字の日本語で「引用文」と注記する。

●文献への言及――本文および注での文献への言及は、「著者（姓）」＋「半角スペース」＋「刊行年」、あるいは「著者（姓）」＋「半角スペース」＋「刊行年」＋「コロン」＋「半角スペース」＋「ページ数」で行う。

主として個人（単、複）に言及し、その言及の典拠として文献にも言及する場合、当該個人の姓（文献リストに複数の同姓者がある場合はイニシャルとともに）の後のなるべく近いところに、丸括弧内に刊行年を記入する。

事柄に言及し、その典拠として文献に言及する場合は、丸括弧内に著者＋「半角スペース」＋刊行年を記入する。

主として文献自体に言及する場合は、著者＋「半角スペース」＋刊行年を直接に（括弧を用いずに）記入する。

 Abcd (2000: 123) argued that ... Abcd supported that argument (2000: 123).

 The feature has already been reported (Abcd 2000, 2002).

 The issue is discussed in Abcd 2000 and Bcde 2001.

括弧内での文献への言及例

 (Abcd 2000) (Abcd ed. 2000)

 (Abcd 2000, 2001a, 2001b) (Abcd 2000: 54; 2001a; 2001b)

 (Abcd 2000, 2001; Bcde 1995, 2003) (Abcd 2000: 54; 2001a; 2001b; Bcde 1995, 2003)

 (Abcd 2000: 54; 2001a; 2001b; Bcde 1995: 78; 2003: 89)

 (Abcd and Bcde 2000) (Abcd and Bcde eds. 2000)

著者編者が3名以上の場合 (Abcd et al. 2000) (Abcd et al. eds. 2000)

ページの表記――「コロン」＋「半角スペース」＋「ページ」または

 「コロン」＋「半角スペース」＋「初めのページ」＋「半角ダッシュ」＋「終わりのページ」。

 「終わりページ」は「初めのページ」と異なる数の桁のみを記入。

 123–201 123–45 123–8

●注――ワープロソフトの脚注の機能を使用して、脚注として入力する。本文中に注の連番を (note 3) などのスタイルで記入し、注をまとめて本文のあとに配置してもよい。

### 参照文献リストREFERENCES

●言語――和漢韓書の書誌情報は、原語での情報を英訳とを併記する。日漢韓語を読めない読者にも、英訳によって十分の情報が得られるように配慮する。日漢韓語の情報で用いる丸括弧と読点（．）は半角文字を用い、適宜半角スペースで前ないし後のスペースを確保する。全角の句点は全角コンマ（，）を用いる。

●著者――以下の記述では、共著ないし共編は、複数の著者（ないし編者）をそれぞれ一組の著者ないし編者と扱う。first authorが同じであっても、共著者の組み合わせが異なれば、異なる著者と扱う。編書の場合も同じ。

●リストの配列――著者名のアルファベット順。同一人物に単著と編書がある場合は、別立てで扱う。同じ人物の組み合わせの共著と共編も別立てとする。同じ著者の複数の著書および論文は出版年順に配列する。同じく編者の編書も同じ。同じ著者の項目で、同じ出版年のものが複数ある場合は、適宜（例えば分かる範囲内で刊行時順に）配列し、順に小文字のアルファベットをつける。同じ編者の編書の場合も同じ。

●年号の前後のスペース

行頭より年号までのスペースはタブ、年号と論題ないし書名との間のスペースもタブによる。ただし、年号にアルファベットがついた場合は、タブではなく、二重の半角スペースを用いる。

●著者、編者――東アジアなど姓－名の順に名前を呼び慣わしている社会の著者ないし編者は、文献リストに登録する（ローマ字での）姓名の、姓と名の間にコンマを挿入しない。ローマ字による姓名に続いて、半角スペース（×２）＋当該社会での表記（印刷技術上の制約により、当面は日本字、中国語簡体字とハングルに限る――以下「日本語での表記」と記述する）。複数の著者ないし編者の場合、日本語の表記では、個々の著者ないし編者の間を全角コンマ（，）で区切る。翻訳文献の場合、原著者のカタカナ表記は名と姓を・で区切る。

編者――著者および編者の見出しリストでは、単独の編書の場合は (ed.)、共編書の場合は (eds.）で示す。

収録論文の文献項目の中では、括弧なしで、単独の編書の場合は ed.、共編書の場合は eds.で示し、編者との間を半角コンマ（,）で区切る。日本語表記では、いずれの場合も、括弧でくくった（編）で示す。

 Title of Article. In A. Bcde and F. Ghij, eds., *Edited Book Title.*

同一人物の論文集など著書の一部を引用文献とする場合

 Title of Article. In A. Bcde, *Collection Title.*

●論文――雑誌論文の場合、論文タイトル、収録誌、巻号（ないし収録書）、ページ数。

論文集の収録論文、あるいは単行書の章を文献項目とする場合、論文タイトル、収録書、ページ数、出版都市（必要に応じて、州の略号を付ける、出版都市が複数の場合はセミコロンで区分けする）、出版社。

論文タイトルは、冠詞、接続詞、前置詞を除き、全ての語を大文字で始め、ピリオドで終える。コロンに続くサブタイトルの先頭も大文字で始める。ハイフンを含む単語では、ハイフンに続く文字を大文字とする。 Post-Colonial

雑誌名と書名はイタリックとし、赤字で印づける。

●刊行書――書名（イタリック、ピリオドで終える）、出版都市（必要に応じて、州の略号を付ける、出版都市が複数の場合はセミコロンで区分けする）、出版社。必要に応じて、書名の後に、版を小文字で記す。コロンに続くサブタイトルは大文字で始める。ハイフンを含む単語では、ハイフンに続く文字を大文字とする。

 *... Book Title*. London; Cambridge, MA: Publisher.

博士論文、修士論文は書物として扱い、イタリックとする。学位論文であることを示す表記は、

 *... Thesis Title*. Ph.D. dissertation, Abc University.

●日本語（ないし東アジア）文献――項目の配列は上に同じ。論文、書名、出版都市・出版地のそれぞれの項目ごとに、原語での記載に、丸括弧でくくった英訳をつける。英訳部分の書式は上に同じ。丸括弧で括った中にさらに丸括弧がある場合は、角括弧 [] に替える。翻訳をつける主旨は、オリジナル表記（漢字など）を読めない読者であっても、英訳部分をひろって読めば、文献リストとして読めるようにすることにある。

●東アジアおよび英語以外の言語の文献――原題をローマ字表記で表記した後に、丸括弧内に英訳をつける。書名は、原語のイタリックとし、英訳はローマンとする。

●文献リストでのpunctuation

punctuationは必要最小限に留めるという主旨で書式を設定する。

日本語部分であっても、スペースと括弧、ピリオド（読点）は半角を用いる。

出版年の前後は、タブ＋出版年＋タブ＋それに続く書誌情報とする。出版年が4文字を越える場合は、タブではなく、半角スペース2文字とする。

収録誌、巻号、ページは、誌名＋半角スペース＋巻号＋コンマ+半角スペース＋ページ数。巻号は数字のみ（vol.などをつけない）。巻と号の双方を記す場合は、巻に続けて（スペースなしで）号を丸括弧で括る。

 4(2), 123–45. 合併号の場合は 4(1/2), 123–45.

収録書の場合、Inの後に編者（ないし著者）、コンマ、書名をコンマで閉じて、収録ページをpp.（1ページのみの場合はp.）とページ数で表す

 ... Article Title. In A. Bcde, ed.,*Edited Book Title*, pp. 123–56.

収録書がシリーズ（叢書）の中の一冊である場合は、書名（イタリック）に続けて、丸括弧でくくって、シリーズ名＋半角スペース＋号数を記入する。号数は数字のみ（no.などをつけない）。

シリーズとは見なせない、数巻におよぶまとまった刊行書（講座、collected worksなど）の場合は、編者、シリーズ名（イタリック）、巻数（vol. 1など、ローマン）、書名（イタリック）としてもよい。

●以下、“City\*:Publisher”　とあるところは、アメリカ合衆国の出版社の場合、アステリスクの代わりに、”, SA:”　　というように、都市名の後にカンマ、州の略号、コロンにつづいて出版社名を記す。例えば “Minneapolis, MN: University of Minnesota Press.”

著書

Surname, Personal N.

 2001 *Book Title: The Sub-Title.* City\*: Publisher.

Sei Mei 姓名

 2001 『書名――副題』(*Book Title: The Sub-Title*). 都市：出版社 (City: Publisher).

Surname, Personal

 2001 *Book Title: The Sub-Title* (Monograph Series 2). City\*: Publisher.

Sei Mei 姓名

 2001 『書名――副題』(シリーズ名2) (*Book Title: The Sub-Title* [Monograph Series 2]). 都市：出版社 (City: Publisher).

Surname, Personal

 2001 *Book Title: The Sub-Title,* second enlarged edition. City\*: Publisher.

Sei Mei 姓名

 2001 『書名――副題』改訂第2版 (*Book Title: The Sub-Title*, revised enlarged edition). 都市：出版社 (City: Publisher).

Surname, Personal and P. Surname

 2001 *Book Title.* City\*: Publisher.

Surname, Personal, Sei Mei, and P. Surname

 2001 *Book Title.* City\*: Publisher.

Sei Mei, P. Surname, and Sei Mei 姓名，I・セイ，姓名

 2001 『書名――副題』(*Book Title: The Sub-Title*). 都市：出版社 (City: Publisher).

編書

Surname, Personal (ed.)

 2001 *Book Title: The Sub-Title.* City\*: Publisher.

Sei Mei (ed.) 姓名 (編)

 2001 『書名――副題』(*Book Title: The Sub-Title*). 都市：出版社 (City: Publisher).

Surname, Personal and P. Surname (eds.)

 2001 *Book Title.* City\*: Publisher.

Surname, Personal, Sei Mei, and P. Surname (eds.)

 2001 *Book Title*. City\*: Publisher.

Sei Mei, P. Surname, and Sei Mei (eds.) 姓名，I・セイ，姓名 (編)

 2001 『書名――副題』(*Book Title: The Sub-Title*). 都市：出版社 (City: Publisher).

訳書

Surname, Personal

 2001 *Book Title: The Sub-Title.* Translated from the French by P. Surname. City\*: Publisher

Sei Mei 姓名

 2001 『書名――副題』(*Book Title: The Sub-Title*), 訳者 (訳) (translated into Japanese

 by Yakusha Namae). 都市：出版社 (City: Publisher).

論文

Surname, Personal

 2001 Article Title. *Journal Title* 1, 234–56.

Sei Mei 姓名

 2001 「論文タイトル――副題」(Article Title: The Sub-Title).『収録雑誌』(*Journal Title*) 1, 234–56.

Surname, Personal

 2001 Article Title. In P. Surname, ed., *Book Title,* pp. 123–45. City\*: Publisher.

Sei Mei 姓名

 2001 「論文タイトル――副題」(Article Title: The Sub-Title). 編者 (編)『書名――副題』(In Sei Mei, ed., *Book Title: The Sub-Title*), pp. 123–45. 都市：出版社 (City: Publisher).

Surname, Personal

 2001 Article Title. In P. Surname, ed., *Book Title* (Series Title 5), pp. 123–45. City\*: Publisher.

Sei Mei 姓名

 2001 「論文タイトル――副題」(Article Title: The Sub-Title). 編者 (編)『書名――副題』(シリーズ名 5)(In Sei Mei, ed., *Book Title* [Series Title 5]), pp. 123–45. 都市：出版社 (City: Publisher).

Surname, Personal

 2001 Article Title. In P. Surname, ed., *Collected Works*, vol. 5, *Book Title*, pp. 123–45. City\*: Publisher.

Sei Mei 姓名

 2001 「論文タイトル――副題」(Article Title: The Sub-Title). 編者 (編)『講座名，第5巻，書名――副題』(In Sei Mei, ed., *Collected Works: The Sub-Title,* vol. 5, *Book Title*), pp. 123–45. 都市：出版社 (City: Publisher).

Surname, Personal

 2001 Article Title. In P. Surname and P. Surname, eds., *Book Title*, pp. 123–45. City\* : Publisher.

Surname, Personal

 2001 Article Title. In I. Surname, I. Surname, and I. Surname, eds., *Book Title*, pp. 123–45. City\*: Publisher.

Sei Mei 姓名

 2001 「論文タイトル――副題」(Article Title: The Sub-Title). 編者，編者，編者 (編)『書名――副題』(In Sei Mei, Sei Mei, and Sei Mei, eds., *Book Title: The Sub-Title*), pp. 123–45. 都市：出版社 (City: Publisher).